

市立小・中学校建替え事業

教育委員会事務局 教育施設課

■事業概要及び背景



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

◇事業概要

- ・ 築70年を目安に、老朽化した学校施設を建替えています。
- ・ グラウンドが狭い、複数棟に分かれている等の教育上の課題も、建替えに併せて解決を図っています。
- ・ 平成29年度の事業着手以降、現在までに23校で建替えに着手しています。事業手法は、全校が直接執行(従来方式：分離分割発注)です。

◇公民連携を検討する背景

- ・ 厳しい財政状況から、建替え事業費の縮減や平準化が求められています。
- ・ 工事が長期化する傾向にあり、工期短縮が課題となっています。
- ・ 教職員の働き方改革の推進が求められています。

「横浜市立小・中学校施設の 建替え等に関する基本方針」(令和5年6月改定)

「公民連携の推進」 (抜粋)

学校建替え等に民間ノウハウや資金を活用することで、整備や維持管理等に係る財政負担の軽減や平準化だけでなく、工期短縮や建替え後の高いサービス水準の維持管理等が期待できます。

複合化を進めた場合にその効果が期待できることから、駅に近いなど市民にとって利便性が高く、商業地域など高度利用が可能な場所にあり、複合化等により民間ノウハウの活用が期待できる学校施設の建替え等を中心に、PFIなどの公民連携手法の導入を検討するとともに、順次、適用範囲を拡大していきます。

■検討の方向性・想定する事業手法



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

◇立地や複合化の有無に関わらず、全ての学校を対象に、
公民連携手法も含めて事業手法の検討を行います。

- ・簡易VFM算定や維持保全・管理業務等への公民連携手法の適性等を検討し、公民連携手法導入の可能性を検討します。
- ・過去に「横浜市立十日市場小学校整備事業」の例（BT0）がありますが、今後「築70年を超えた長寿命化」にも取り組む予定でもあることから、民間事業者の皆さまには、過去の事例に捉われない、様々なアイデアを期待しています。

■想定スケジュール（今後検討）



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

◇令和5年度以降に選定する建替え対象校等について、
公民連携手法導入の検討を行います。

◇検討にあたっては、「横浜市中小企業振興基本条例」
にも配慮し、「横浜PPPプラットフォーム」の取組
などとも連携して進めていきます。